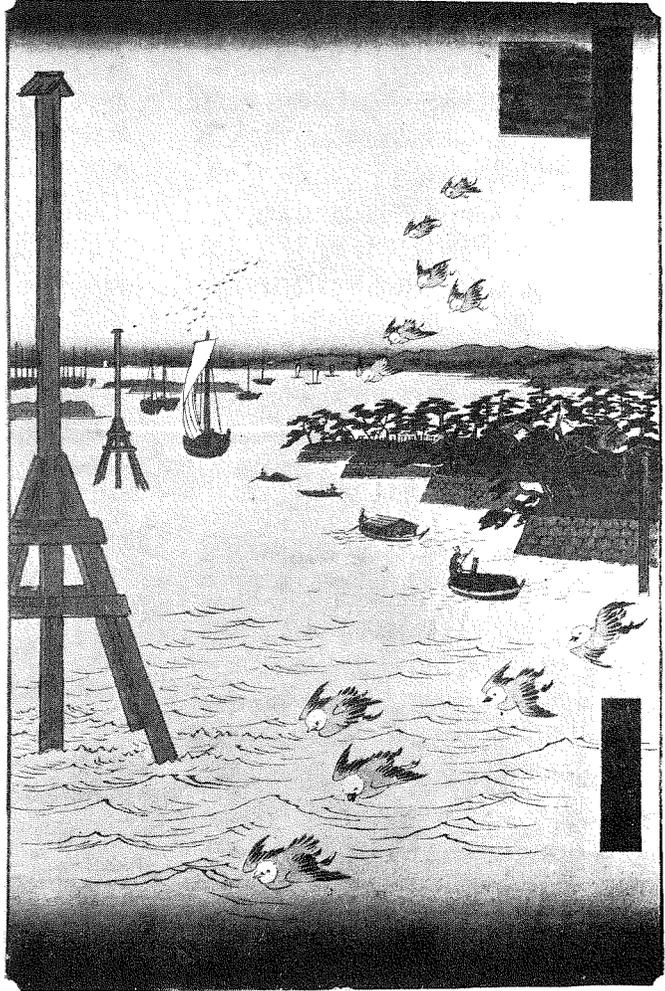
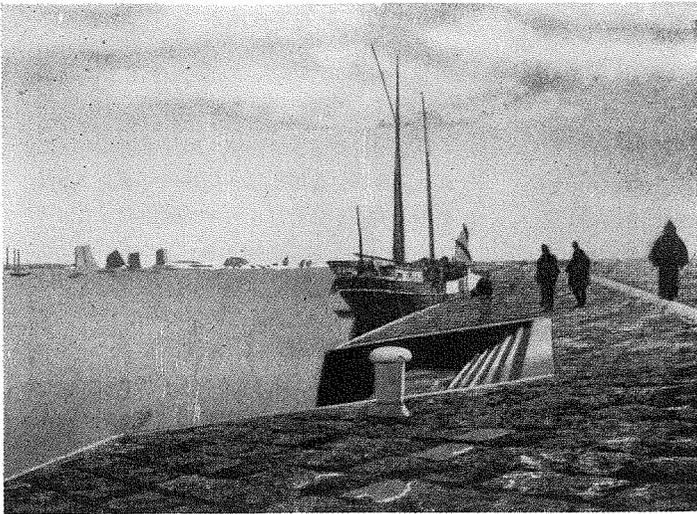


東京港
・
今と昔



〔1〕

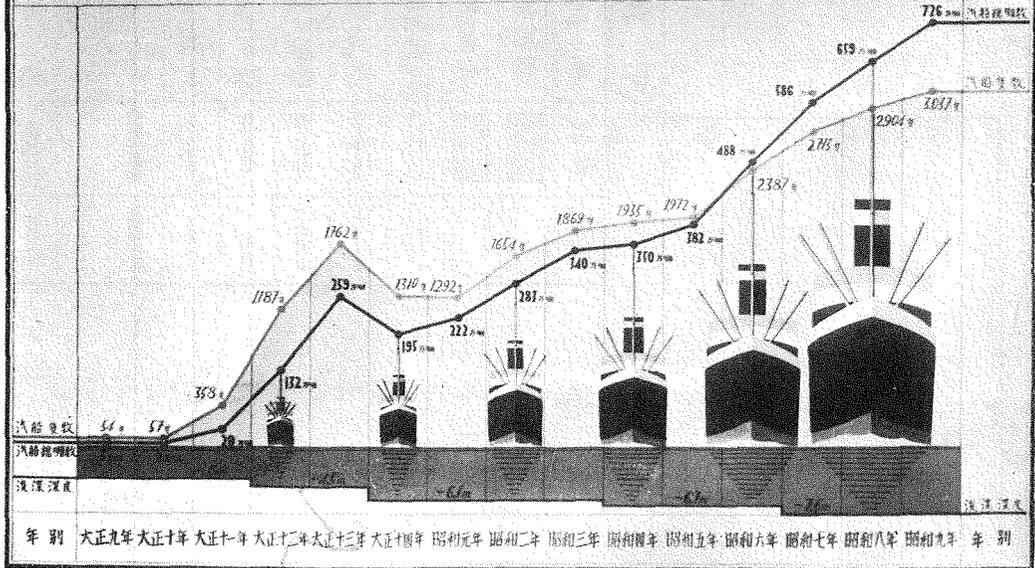
巨匠廣重の描いた舊幕時代の芝浦風景。松林の内は濱離宮に當り、海上に臺場が描かれてゐる。



〔2〕

震災前の東京港・大正12年の關東大地震までは、港灣設備としては僅かに芝浦物揚場（現在日出町岸壁の背面埋立地）を持つだけであつた。

東京港(海面)入港汽船累年比較



〔3〕 最近の東京港・芝浦岸壁に於ける荷役の状況で、岸壁側では陸上荷役を、港側では舢舨荷役をしつゝある状況。此躍進振りには、廣重の版畫は云ふも更なり、僅か10年前の東京港と比較してさえ思半に過ぎるものがある。

